



このように出題されています 過去問題練習と解説

問 1

(IP-H23-S-66)

システム評価の方法であるベンチマークテストに関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア システムの可用性を、システムが正常に稼働している割合で評価する。
- イ システムの処理能力を、標準的なプログラムやデータを用いて評価する。
- ウ システムの信頼性を、障害が回復してシステムが復旧してから、次の障害が発生してシステムが停止するまでの平均時間で評価する。
- エ システムの保守性を、システムが故障で停止してから復旧するまでの平均時間で評価する。

解説

正解：イ

ベンチマークテストは、特定のプログラムとデータを用いて行われるシステムの性能評価テストのことです。プログラムとデータは、市販されているものを購入する、もしくはインターネットに公開されているものをダウンロードする等の方法で入手します。たとえば、ハードディスクのベンチマークテスト用ソフトウェアの1例に、“CrystalDiskMark”があります。なお、選択肢アは“稼働率”、選択肢ウは“MTBF”(P.374)、選択肢エは“MTTR”(P.374)のような説明です。

問 2

(IP-H22-A-86)

システムの性能を評価する指標と方法に関する次の記述中のa～cに入れる字句の適切な組合せはどれか。

利用者が処理依頼を行ってから結果の出力が終了するまでの時間を タイム、単位時間あたりに処理される仕事の量を という。また、システムの使用目的に合致した標準的なプログラムを実行してシステムの性能を評価する方法を という。

	a	b	c
ア	スループット	ターンアラウンド	シミュレーション
イ	スループット	ターンアラウンド	ベンチマークテスト
ウ	ターンアラウンド	スループット	シミュレーション
エ	ターンアラウンド	スループット	ベンチマークテスト

解説

正解：エ

利用者が処理依頼を行ってから結果の出力が終了するまでの時間を“ターンアラウンドタイム”、単位時間あたりに処理される仕事の量を“スループット”といいます。また、システムの使用目的に合致した標準的なプログラムを実行してシステムの性能を評価する方法を“ベンチマークテスト”といいます。